

## 平成 21 年度合同研修会

東北地区大学図書館協議会  
平成 21 年度合同研修会担当館  
岩手県立大学メディアセンター

平成 22 年 7 月 16 日（金）に、岩手県立大学にて「学習支援の場としての大学図書館の役割」をテーマに、平成 21 年度東北地区大学図書館合同研修会を開催しました。

- 日 時 : 平成 22 年 7 月 16 日（金）13:00～17:00
- 会 場 : 岩手県立大学共通講義棟
- 参加者 : 57 名（国立 14 名、公立 17 名、私立 26 名）
- テーマ : 学習支援の場としての大学図書館の役割
- 趣 旨 : 電子媒体資料の普及が急速に進み、学生の学習環境は変わりつつあります。こうした状況のなかで、大学図書館は学生に対してどのようなサービスを行えばよいのでしょうか。学生の学習支援の場としてできることは何か。講演・グループ情報交換会を通じて、これからの大学図書館のありかたを考えたいと思います。
- プログラム
  - 13:00～13:05 開会挨拶 武田利明メディアセンター長
  - 13:05～14:30 基調講演 「ラーニングコモンズと図書館戦略」  
東京大学教養学部等事務部図書課長 茂出木 理子 氏  
質疑応答
  - 14:30～14:40 休憩
  - 14:40～16:10 グループ別情報交換会
  - 16:10～16:20 休憩
  - 16:20～17:00 情報交換会内容発表
  - 17:00 閉会
  - (17:00～17:30 図書館見学 希望者のみ)

この合同研修会は、協議会加盟館職員の人材育成と交流の機会となるよう、加盟各県の持ち回りにより毎年実施されており、今年は、30 大学から 57 名の参加がありました。

基調講演には、東京大学教養学部等事務部図書課長 茂出木理子氏を講師に迎え、「ラーニングコモンズと図書館戦略～新しいことを楽しむコツ～」についてご講演いただきました。

基調講演の後には、第 1 グループ「学習のための『場』づくり～学習環境をよりよくするための取組み～」、第 2 グループ「学習支援のための人的サービス～図書館員による学習支援を深める取組み～」にわかれて、情報交換会を行いました。

業務の進め方や研修会のあり方等について、気づきがある貴重な機会となりました。

講師をお引き受けくださいました茂出木様、ご参加いただきました皆様に感謝いたします。

